

はじめに

人口減少や少子高齢化の進展、グローバル経済の一層の進展など、社会情勢が大きく変化する中、本県が持続的に発展し、安心・安全で活力ある地域づくりを進めるためには、性別にかかわらず、すべての人が個性と能力を発揮して、あらゆる場面で活躍することができる多様性に富んだ男女共同参画社会の実現が不可欠です。

本県においては、2002年3月に制定した「愛知県男女共同参画推進条例」と、2016年3月に策定した「あいち男女共同参画プラン2020～すべての人が輝き、多様性に富んだ活力ある社会をめざして～」を両輪として、男女共同参画社会の実現に向けた様々な取組を推進してまいりました。

「あいち男女共同参画プラン2020」の計画期間の最終年度にあたる2020年度におきましては、県審議会等に占める女性委員の割合が42.01%となり、計画で定めた目標の40%を達成することができました。

また、この2021年3月には、愛知県男女共同参画審議会の答申に基づき、新たに2021年度から2025年度までの5年間を計画期間とする「あいち男女共同参画プラン2025～すべての人が生涯輝く、多様性に富んだ社会をめざして～」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みの一層の推進を図ることとしたところです。

本書は、愛知県男女共同参画推進条例第14条の規定に基づく年次報告書として、本県が2020年度に実施した男女共同参画施策の実施状況等をまとめるとともに、本県の男女共同参画社会形成の状況について記載したものです。

本書が、男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画に関する理解と認識を深めていただく一助となれば幸いに存じます。

2021年10月

愛知県知事 大村 秀章